

情 報 公 開 文 書

研究の名称	妊娠中後期の座位・臥位時間の実態とその関連要因の探究（エコチル調査）
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦
研究の概要	【研究対象者】 子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）に参加した妊婦 【研究の目的・意義】 日常生活の中の座位・臥位時間が長いと、様々な健康指標が不良であるとする報告が近年増えており、World Health Organization のガイドラインにおいても、座位・臥位時間を減らすことが推奨されています。妊娠期は体型の変化に伴い身体活動が抑制され、座位・臥位時間が増加しますが、WHO のガイドラインでは妊婦においても座位・臥位時間を一般集団と同様に減らすことが推奨されています。しかし、エビデンス不足からその閾値定量化はできないとしており、定量的研究が求められています。また、日本国内では妊婦の座位・臥位時間の実態調査はほとんど行われていません。そこで本研究では、エコチル調査のデータを用い、妊婦の座位・臥位時間の実態を明らかにし、関連する要因を探求します。 【研究の方法】 エコチル調査に既に登録された対象者について検討します。エコチル調査では妊娠中の女性に対し、妊娠前と妊娠中後期の平均的な1日の座位・臥位時間を尋ねる質問票調査を実施し、回答を得ています。この質問票ではその他に生活習慣や社会経済的要因など多数の情報も取得済みです。本研究では、すでに取得済みのデータセットを用いて解析を行い、追加の情報収集は行いません。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 利用する情報からは、お名前、住所など、参加者さんを直接同定できる個人情報とは削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌、エコチル調査専用のホームページ、シンポジウム、広報誌、テレビ、ラジオなど様々なメディアで発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	質問票より得られた妊娠前及び妊娠中後期の座位・臥位時間、テレビ視聴時間、ゲーム時間、睡眠時間、野外活動時間、年齢、妊娠前の肥満度、最終教育レベル、世帯収入、婚姻状況、アルコール摂取状況、喫煙状況、分娩数、1日あたりの平均通話時間、1日あたりの電子メール/ショートメッセージ送受信回数、雇用形態、精神的苦痛、自閉症傾向、朝食抜きの頻度、妊娠初期のつわり、情緒的社会的支援、妊娠合併症などの情報を用い、多変量解析を行います。また、他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	国立大学法人富山大学 学長 齊藤 滋
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関におけ	研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座・教授 稲寺 秀邦

る研究責任者氏名)	
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 TEL:076-415-8846 FAX:076-415-8843 E-MAIL ecojimu@med.u-toyama.ac.jp 富山大学医学部内 エコチル調査富山ユニットセンター 土田暁子・富山大学学術研究部医学系公衆衛生学講座助教